

令和7年度 事業予定箇所

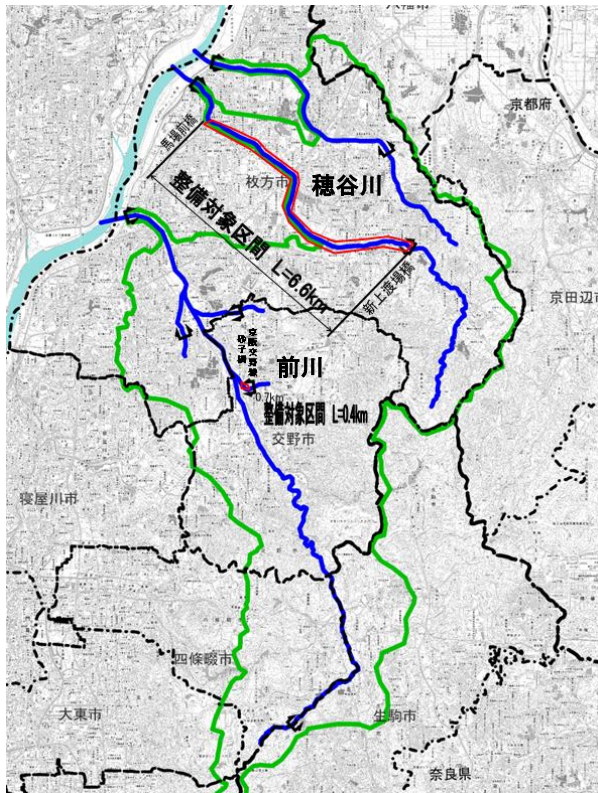
河川管理施設の整備等（計画）

北河内地域の河川施設の整備については、「淀川左岸ブロック河川整備計画」、「寝屋川ブロック河川整備計画」において、今後20～30年程度で目指すべき当面の目標を設定している。

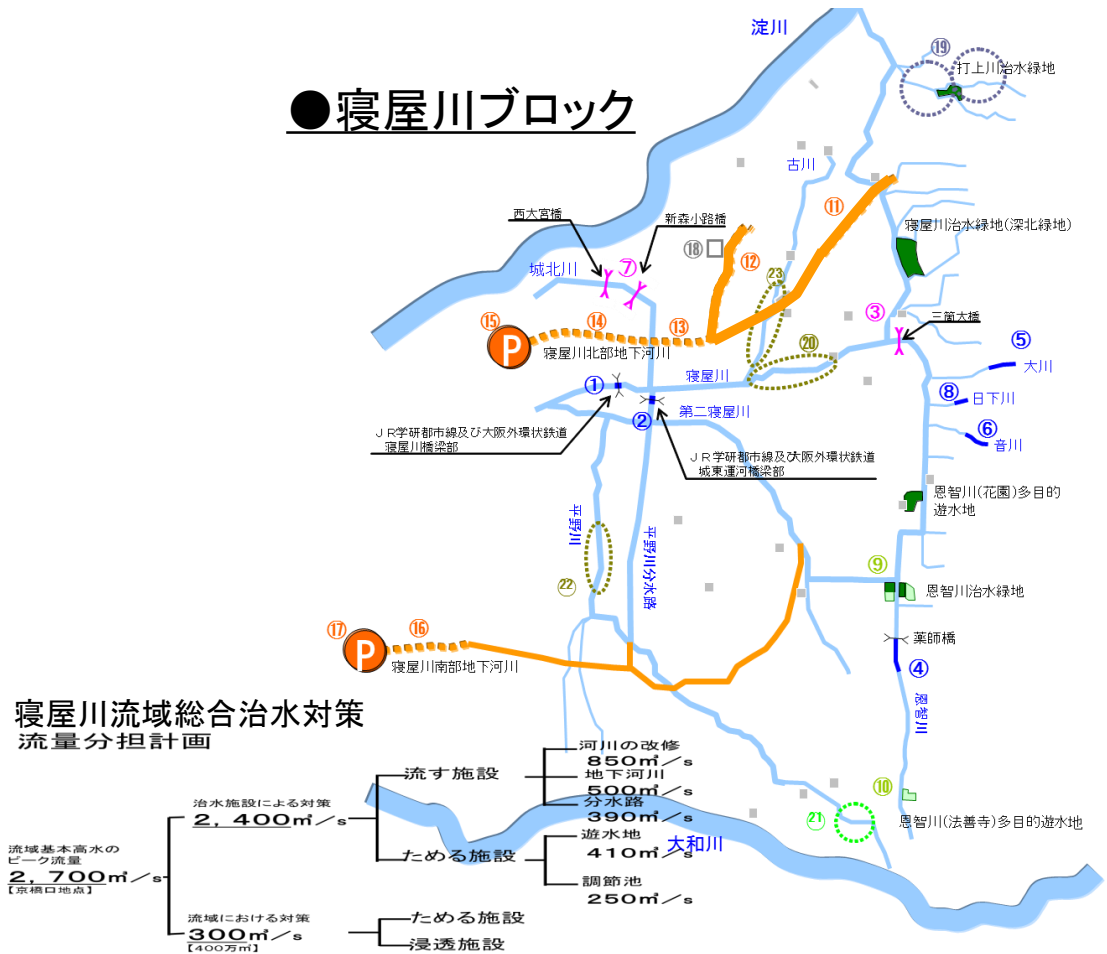
●淀川左岸ブロック：穂谷川において時間雨量80mm程度の降雨による洪水浸水を防ぐことを目標に整備を進める。

●寝屋川流域：時間雨量50mm程度の降雨による床下浸水の発生を防ぎ、かつ、時間雨量65mm程度の降雨による床上浸水の発生を防ぐこと目標に整備を進める。

●淀川左岸ブロック



●寝屋川ブロック



河川管理施設等の整備

■ 枚方土木事務所

【河川事業】

- 一級河川 穂谷川 改修工事（二千年橋上下流） 80mm対策（事業中）
- 一級河川 穂谷川 改修工事（長ヶ嶽橋下流） 80mm対策（事業中）
- 一級河川 穂谷川 改修工事（出屋敷橋上流） 80mm対策（R 4.3月完成）
- 一級河川 前川 改修工事（砂子橋上流） 65mm対策（R 3.11月完成）

【砂防事業】

- 淀川水系 北川支川 砂防堰堤工事（本堤工および前庭保護工）
- 淀川水系 天野川右 1 左四 砂防堰堤（本堤工）

■ 寝屋川水系改修工営所

【河川事業】

- なし（枚方土木事務所管内） ※令和2年度に守口調節池完成

■ 東部流域下水道事務所

【下水道事業】

- 門真守口増補幹線（第2工区）下水管渠築造工事
- 四條畷増補幹線 立坑築造工事
- 四條畷増補幹線（第1工区）下水管渠築造工事
- 門真寝屋川（二）増補幹線外（第1工区）下水管渠築造工事
- 雨水ポンプ設備更新工事（雨水ポンプ予備化）【1 処理場】
（鴻池MC）

河川管理施設等の整備（枚方土木事務所）

一級河川穂谷川 河川改修事業
（長ヶ嶽橋下流・護岸工事）
【枚方土木事務所】



穂谷川改修工事（80mm対策）施工中

一級河川前川河川改修事業
（砂子橋上流・護岸工事）
【枚方土木事務所】



前川改修工事（65mm対策）完成

河川管理施設等の整備（寝屋川水系改修工営所、東部流域下水道事務所）

河川管理施設の整備等（令和7年度の整備内容）

河川事業
【寝屋川水系改修工営所】

- 令和2年度に守口調整池完成。
- 令和7年度は、枚方土木事務所管内は、対象河川事業なし

寝屋川北部流域下水道

- 下水道増補幹線
門真守口増補幹線（第2工区）下水管渠築造工事 他3幹線
- 雨水ポンプ設備更新（雨水ポンプ予備化）
1 処理場

【東部流域下水道事務所】



門真守口増補幹線（第2工区）下水管渠築造工事
発進立坑写真

今後・5年間の取組

河川整備計画や中期計画等に基づき、順次、河川整備を推進。

また、土砂災害発生の危険度及び災害発生時の影響度から対策箇所の重点化を図り整備を進める。

令和6年6月17～18日の降雨に対する治水施設の効果（寝屋川流域）

令和6年度 第一弾！

・寝屋川水系改修工事所
・枚方土木事務所
・太間排水機場

- 寝屋川流域では、河川、下水道等が一体となった総合治水対策として、遊水地、地下河川、流域調節池、下水道増補幹線等の治水施設の整備を推進中。
- 寝屋川流域ではこれまでの施設整備効果により、**今回豪雨で施設が無い場合に想定される約264haの内水浸水被害を解消！（浸水被害軽減効果額は約284億円（太間除く）※）**
- **令和6年5月27～28豪雨の際も効果を発揮しており、令和6年度6月18日時点までの浸水被害軽減効果は、約561億円！！**
- 本格的な梅雨時期を迎え、今後も寝屋川流域の治水施設の整備効果をドンドンPRしていきます！！

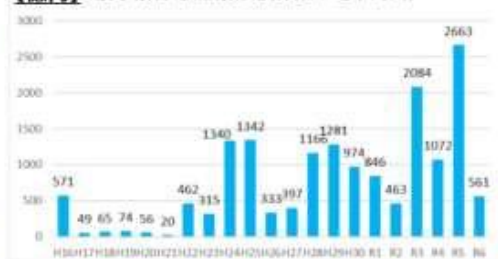
< 今回も、治水施設が効果を発揮し、浸水被害を解消！！ >

【寝屋川北部地下河川のための施設効果（今回豪雨の想定）】

【これまでの浸水被害軽減効果（想定）】

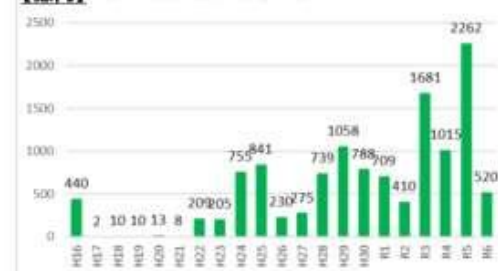
- 軽減想定エリア 1,900,720㎡
- 施設貯留量 91,680㎡
- 想定被害軽減額 約203.4億円

【億円】 浸水被害軽減効果（調節池＋地下河川）



【太間排水機場（内水運転）の効果！！】一部、外水運転含む

【億円】 浸水被害軽減効果（地下河川のみ）



【令和6年6月17～18日の施設貯留量】

貯留量 約 26.9万m³（供用済全貯留量 529.3万m³）

【外水対策:4.3万m³】

【内水対策】22.6万m³（下水道増補幹線含む）

- ▲ 恩智川治水緑地（3.6万m³）
- 寝屋川治水緑地（0.3万m³）
- 花園多目的遊水地（0.4万m³）

- : 地下河川 約20.0万m³
（北部：9.2万m³、南部：10.8万m³）
- ★ : 調節池 約 2.6万m³
（24箇所中10箇所で貯留）
- ▲ : 太間排水機場（内水運転）

※ 簡易シミュレーションでの試算による。
ただし、流域対応施設、外水施設の浸水被害軽減効果は対象外。



令和6年11月2日 豪雨に対する治水施設の効果（寝屋川流域）

令和6年度 第二弾！！

寝屋川水系改修工営所
河川室

- 寝屋川流域では、河川、下水道等が一体となった総合治水対策として、遊水地、地下河川、流域調節池、下水道増補幹線等の治水施設の整備を推進中。
- 寝屋川流域ではこれまでの施設整備効果により、**今回豪雨においても施設が無い場合に想定される約495haの内水浸水被害を軽減し、多大な効果を発揮！（浸水被害軽減効果額は約524億円）**
- ※ **令和6年度の浸水被害軽減効果は、11月2日時点で、約3,065億円と過去最高を記録！！（H16年度以降での総効果額は1兆8,638億円を突破！！）**
- しかしながら、**北部・南部地下河川ともに流入開始後、約1時間でほぼ満管状態となっていたことから、本来の機能をフルに発揮できるよう放流施設としての整備を進める必要があることを改めて実感！！**

＜ 今回も、治水施設が効果を発揮し、浸水被害を軽減！！ ＞

【寝屋川北部地下河川集水エリアでの被害想定（今回豪雨）】

【河川施設貯留状況（内水施設） 貯留事例】

寝屋川流域図

【流域内 最大時間雨量・日雨量】

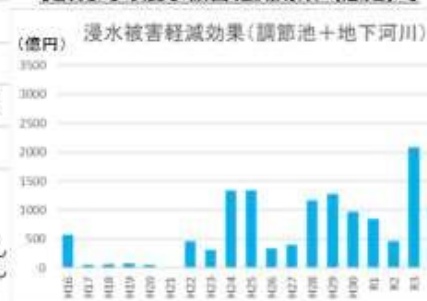
- ・第二寝屋川(工営所本部：大阪市)
45mm/h 総雨量82mm (11月2日)
- ・恩智川(恩智川治水緑地：東大阪市)
38mm/h 総雨量86mm (11月2日)
- ※その他、観測地点においても同程度の降雨を観測
(流域一様に同規模の降雨が発生)



【流域内での降雨と被害（令和6年11月2日時点）】



【これまでの浸水被害軽減効果（想定）】



【施設整備量】

H7豪雨時点 供用済貯留量
地下河川 約14万m³
流域調節池 約3万m³

R3末時点 供用済貯留量（現時点も同様）
地下河川 約89万m³
流域調節池 約61万m³

**H16年以降の総効果額は、
☆1兆8,638億円を突破！！☆**

【令和6年11月2日の施設貯留量 約113.9万m³（供用済全貯留量 529.3万m³）】

【外水対策:13.6万m³】

【内水対策:100.3万m³】

- ▲ 恩智川治水緑地 (11.9万m³)
- 寝屋川治水緑地 (0.3万m³)
- 花園多目的遊水地 (0.7万m³)
- 打上川治水緑地 (0.7万m³)

- 地下河川 82.6万m³
【北部：25.9万m³、南部：56.7万m³】※共に約96%貯留！！
- ★ 調節池 17.7万m³

※ 簡易シミュレーションでの試算による。
ただし、流域対応施設、外水施設の浸水被害軽減効果は対象外。

今回豪雨では、
南部地下河川の貯留量が過去最大を更新。
北部、南部地下河川が1洪水でほぼ同時に満管状態まで貯留されることになった。

河川施設等の維持管理

大阪府では、河川や砂防施設の定期点検や必要に応じて緊急点検を実施し、施設の状況を把握し、堆積土砂撤去など適切な維持管理に努めている。また、地域の皆さんに身近な河川や砂防施設の状況を知って頂くため、「河川砂防施設の点検結果」や「河川特性マップ」をHPで公表している。

【河川堆積土砂除去など】

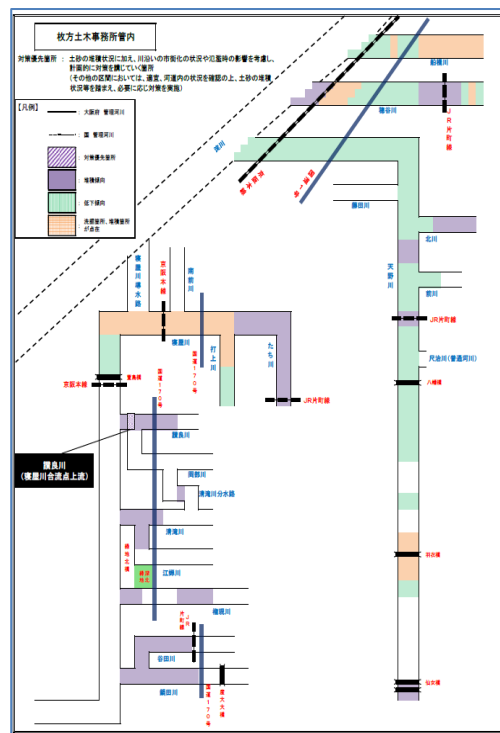


事例：谷田川（JR学研都市線下流）

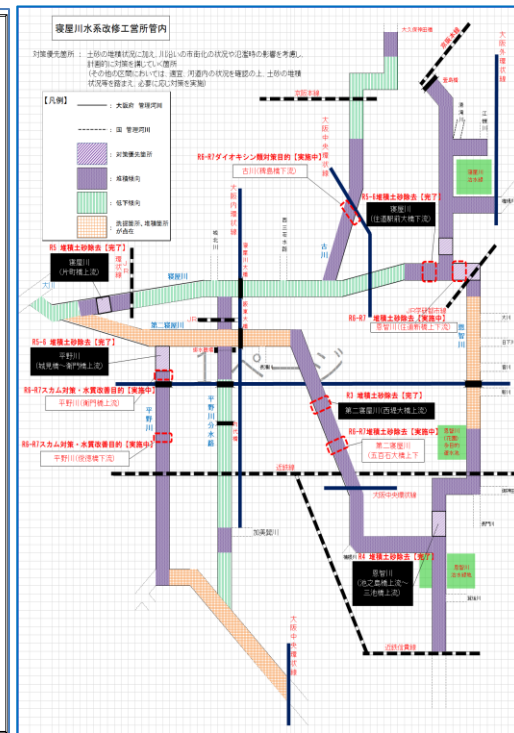


傍示川（砂溜工）

【河川特性マップ】

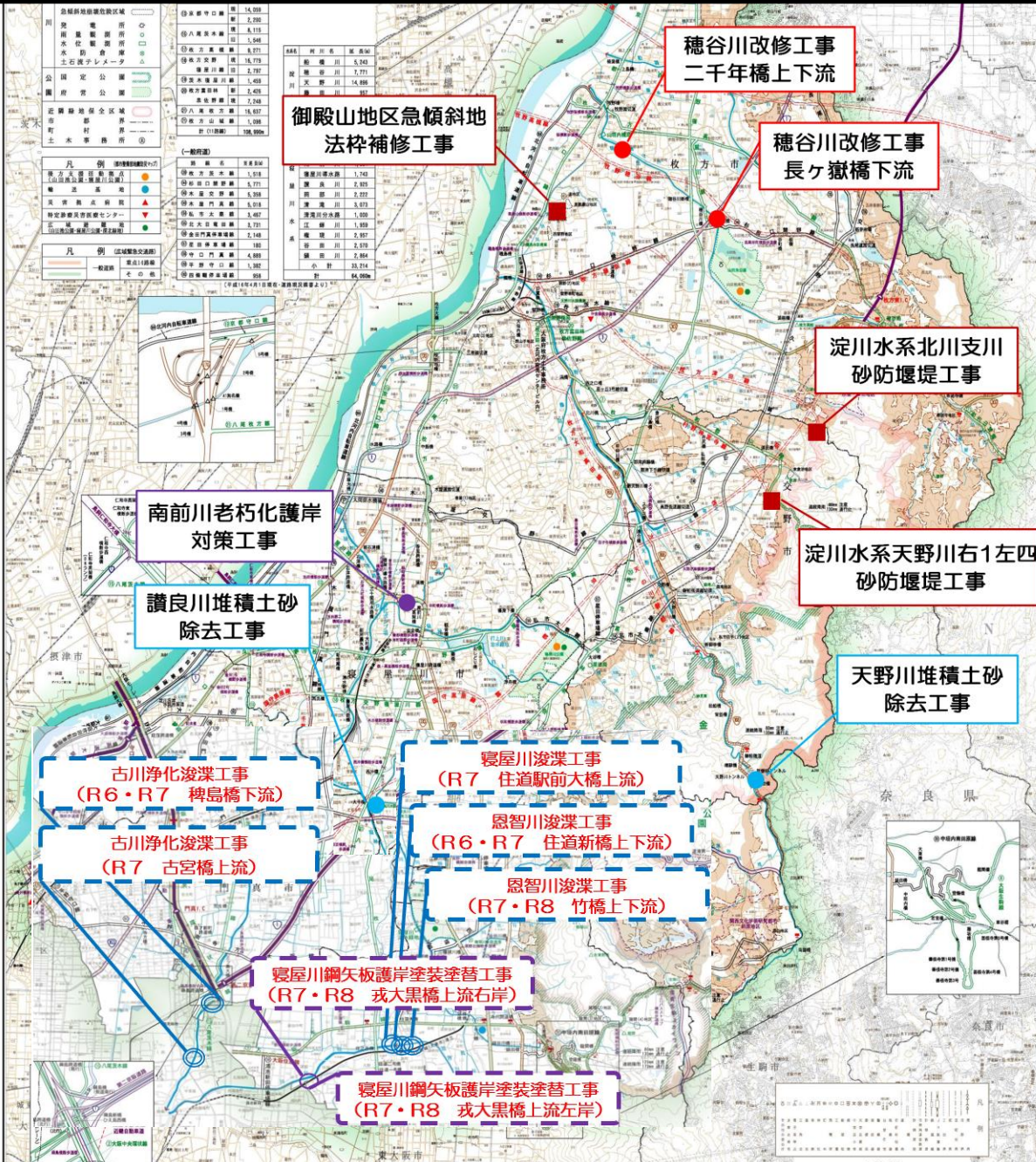


枚方土木事務所管内



寝屋川水系改修工営所管内

令和7年度 北河内地域の河川及び砂防施設の整備予定（地下河川・増補幹線除く）



凡例

枚方土木事務所 予定

寝屋川水系改修工営所 予定

寝屋川北部地下河川と 下水道増補幹線の整備状況

令和7年度

◆現状

○貯留量：46万 m^3

○集水区域：6,600ha（供用済5,800ha）

凡例

寝屋川水系改修工箇所

==> 地下河川（整備中）

==> 地下河川（完成）

東部流域下水道事務所

==> 下水道増補幹線（整備中）

==> 下水道増補幹線（完成）

令和2年度 約1,600ha
浸水軽減面積拡大
延長3.1km、貯留量6万 m^3 増

令和6年度
下流部分
先行供用済

平成14年度 供用済
1,400ha

平成27年度 供用済
約1,100ha

四條畷
増補幹線

平成28年度
供用済
約300ha

平成29年度 供用済
約1,000ha

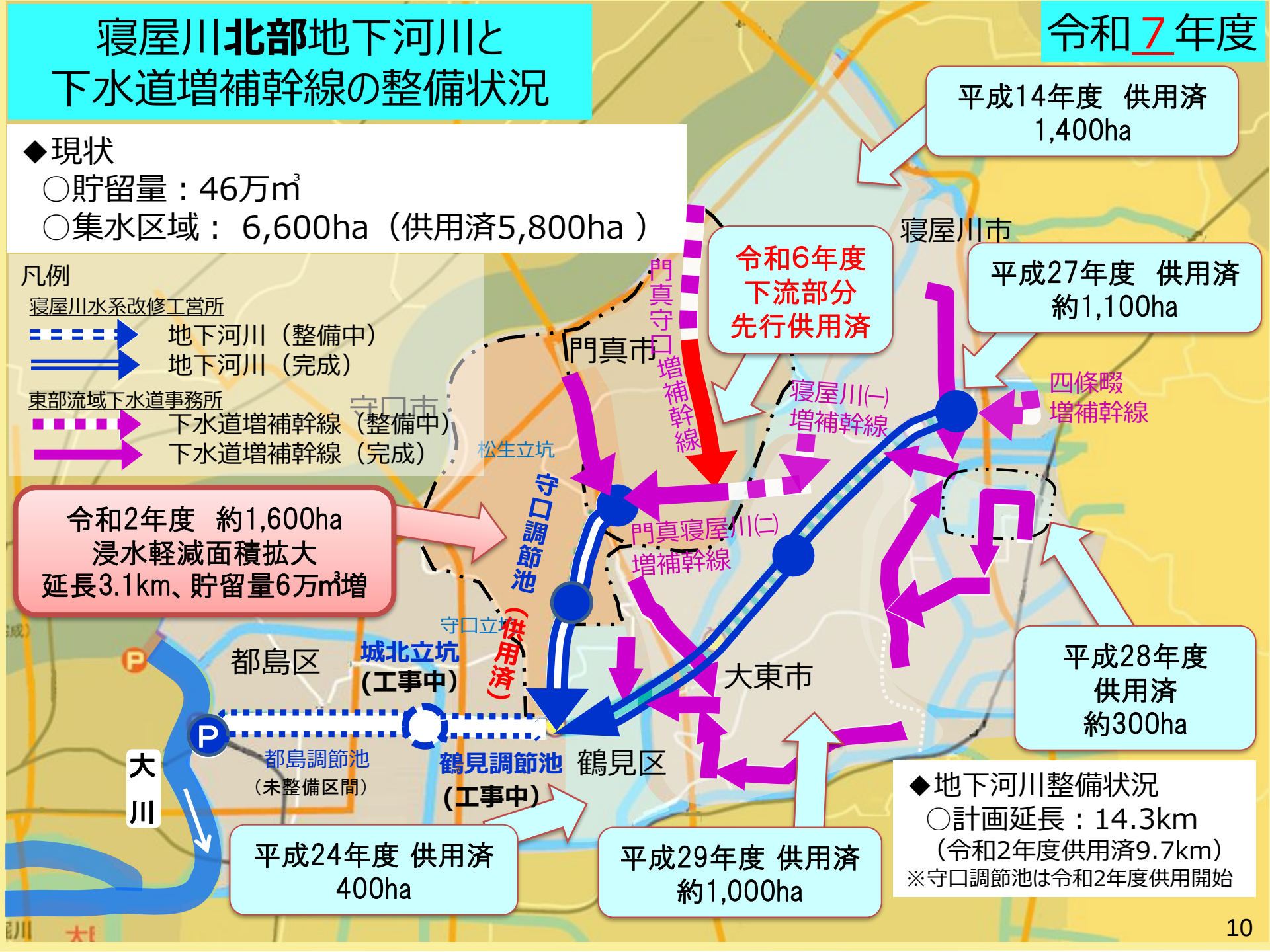
平成24年度 供用済
400ha

◆地下河川整備状況

○計画延長：14.3km

（令和2年度供用済9.7km）

※守口調節池は令和2年度供用開始



河川施設点検結果について

◇令和5年度 河川施設点検結果の対応状況

案件1 ・ ・ 穂谷川（枚方市交北三丁目）：河床の洗堀



※根継ぎ工を実施済

案件2 ・ ・ 穂谷川（枚方市杉三丁目）：河床の洗堀



※袋詰め玉石工を実施済
7年度設計し、早期に工事
の予定

◇令和6年度 河川施設点検結果 ・ ・ 緊急対応実施箇所、要注意箇所とも無し

-寝屋川水系改修工営所-

◇令和5年度 河川施設点検結果・・・緊急対応実施箇所、要注意箇所とも無し

◇令和6年度 河川施設点検結果

R6年度 河川施設の点検結果箇所一覧表

事務所名	施設の種別	河川・砂防施設名—番号	場所		状況	点検結果への対応	対応状況 (R7年3月末時点)	完了予定	公表年月
1 寝屋川水系改修工営所	河川	寝屋川 - R6-1	大東市	谷川1丁目 会所橋下流100m地点の左岸	護岸背面の空洞	A	次期出水期までに 対策を実施予定	R7年5月	R7年3月

点検結果への対応

A 緊急対応実箇所：次期出水期(5月末)までに応急的な対応を完了し、補修方法等の検討を行い概ね3年を目途に順次対策を実施します。

B 要 注 意 箇 所 : 必要に応じ詳細な調査を実施し、補修方法等の検討を行い概ね3年を目途に順次対策を実施します。

